

リデュース

食べきろう!

「食品ロス」はもったいない!

まだ食べることができるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といいます。食べ物には生き物のいのちや、作った人の「おいしく食べてもらいたい」という気持ちが込められています。食べ物へ感謝の気持ちを忘れずに食事をしましょう。

江戸川区では一人当たり年間で約12kgの食品ロスが発生しています。

12kgってどれくらい?

例えばごはんでは



約77杯

例えばりんごでは



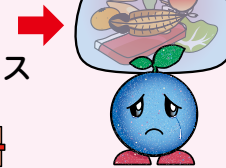
約43個

区全体でみると家庭系と事業系をあわせて約8,033トンの食品ロスが発生しています

家庭系食品ロス



事業系食品ロス



江戸川区では2030年度に向けて食品ロス量を約4000トンにまで減らすことを目標としているよ!

(江戸川区家庭ごみ組成分析調査等から推計)



食品ロスを減らすために、江戸川区では区内のおまつりなどでフードドライブを実施しています。フードドライブとは家庭で余っている食材を持ち寄り、地域の福祉団体や施設などに提供する活動です。令和7年4月から区役所本庁舎清掃課で常設回収が始まりました。

食品ロスを減らす方法

買い物のとき

余分な食品を買わない



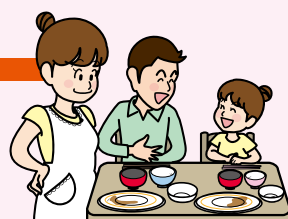
料理のとき

材料を使いきる・食べきれる量だけ作る



食事のとき

食べられる分を残さず食べる



賞味期限と消費期限のちがい

賞味期限を過ぎた場合でもすぐに食べられなくなることはありません。すぐには捨てず、まだ食べられるかおうちの人と相談しましょう。

賞味期限

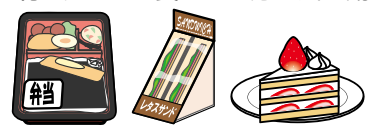
おいしく食べられる期限



(菓子、カップ麺、缶詰)

消費期限

日付を過ぎたら食べない方がよい期限



(弁当、サンドイッチなど)